

事務事業名	道路台帳管理業務		所属部局	建設部	単位番号	2012- 900043				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	用地管理課	課長名	清水 久				
			所属担当	管理担当	担当者名	清水 剛				
基本政策	基本計画	III うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 08	項 01	目 01	細目 020	細々目 08
政策	計画体系	11 道路網の整備	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	18 生活関連道路の整備	法令根拠		道路法						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H24 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		事業費の主な内訳 (26年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) その他委託料 7,096 計 7,096							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 市道の構造や区域など既存台帳データの管理と、新規及び廃止改良等の路線に対するデータ補正を行い、現況市道に合致した台帳を整備する。									

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容	新規認定や廃止等に伴う補正業務を実施する。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	27年度活動予定				ア:新規認定路線延長	m
					イ:廃止路線延長	m
					ウ:改良路線延長	m
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	道路台帳に登録されている市道及び管理データ		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア:総延長	m
					イ:台帳登録路線数	路線
					ウ:	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	現況と台帳登録データが合致するようにする		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア:補正延長	m
					イ:補正路線数	路線
					ウ:	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	市道が安心安全に利用できる		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア:市道が安全に歩行できると答えた市民の割合	%
					イ:市道が安全に車の運転ができると答えた市民の割合	%

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	13,923	10,385	7,096	8,000	8,000			
		事業費計(A)	千円	13,923	10,385	7,096	8,000	8,000	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2			
		延べ業務時間	時間	240	240	240	240	240			
		人件費計(B)	千円	1,092	1,092	1,092	1,092	1,092	0	0	0
		(A)+(B)	千円	15,015	11,477	8,188	9,092	9,092	0	0	0
	活動指標	ア	m	11,500.0	4,000.0	4,000.0	4,000.0	4,000.0			
		イ	m	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0			
		ウ	m	4,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0			
	対象指標	ア	m	867,008.0	876,508.0	872,260.6	888,508.0	894,508.0			
		イ	路線	2,852.0	2,870.0	2,887.0	2,900.0	2,915.0			
		ウ									
	成果指標	ア	m	16,700.0	8,000.0	8,000.0	8,000.0	8,000.0			
		イ	路線	95.0	30.0	30.0	30.0	30.0			
		ウ									
	上位成果指標	ア	%	32.9	33.6						
		イ	%	42.8	38.4						

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	H21~H22の道路台帳統合化事業により、合併により市に引き継がれた6つの道路台帳をひとつに統合した。H24年度からは新規や廃止改良路線に対するデータ更新を行い台帳を整備する事業として開始した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	現在も交付税算定基礎データとして活用されており、今後も道路法の改正がない限り事業を継続しなければならない。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	住民等から市道の管理データの開示が求められている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	工期短縮と経費削減に効果が期待される新技術である測量方式MMS(モバイル・マッピング・システム)方式の導入を検討した。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	平成26年度から補助事業としてMMSを本格導入できるよう事業展開した。

事務事業名	道路台帳管理業務	所属部	建設部	所属課	用地管理課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 道路台帳のデータを現況の道路状況に合わせ管理することで、官民境界の明確化と適正な道路維持が実現され、市民が安心かつ安全に道路を利用することができる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 道路法第28条により、道路管理者は、道路台帳を調整・保管しなければならないと規定されている。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 毎年度変更のある新規、廃止改良路線のデータを更新して台帳に反映しなければならない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 新技術であるMMSを本格導入できた。当分の間はこれ以上の成果の向上余地はない。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) 社会資本整備事業(道路ストック総点検) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 ・適正な道路管理に支障がある。 ・国から適正規模の交付税が受けられなくなる。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 道路法による法定業務である。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 平成26年度からは補助事業として事業展開することができることとなったが、補助率が定められているため、市の負担はこれ以上削減することはできない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 法定業務であり、事業を廃止できないためこれ以上の人件費削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市内全域の道路データを対象としているため、受益者負担の公平性は確保されている。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について) 今年度の、新技術のMMSを導入した委託業務の成果を得る中で、そのデータを共有化し道路改良や維持管理など多方面での活用を期待する。
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について MMSを導入することで、道路台帳の補正以外に多方面(路面管理、防災防犯、通学路管理など)にデータを利活用することができる。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 庁内関係課との調整と連携	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 ⑦																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑥																					